

デュアック配合ゲル

【この薬は？】

販売名	デュアック配合ゲル Duac Combination Gel	
一般名	クリンダマイシンリン酸エステル水和物 Clindamycin Phosphate Hydrate	過酸化ベンゾイル Benzoyl Peroxide
含有量 (1g中)	10mg(力価) (クリンダマイシンとして)	30mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、尋常性ざ瘡治療剤と呼ばれるグループに属する塗り薬です。
- ・ この薬は、クリンダマイシンにより尋常性ざ瘡の原因であるアクネ菌の増殖を抑制し、炎症症状を改善します。また、過酸化ベンゾイルによる抗菌作用、抗炎症作用、皮膚角質の剥離作用、面皰（にきびのもと）を減らします。これらの作用によりざ瘡（にきび）の症状を改善します。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

<適応症>

尋常性ざ瘡

<適応菌種>

本剤に感性のブドウ球菌属、アクネ菌

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・ 過去にデュアック配合ゲルに含まれる成分又はリンコマイシン系抗生物質（克林ダマイシン塩酸塩、リンコマイシン塩酸塩水和物）で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・ 過去に抗生物質を使用して下痢や大腸炎をおこしたことがある人
 - ・ アトピー性体質の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は塗り薬です。

●使用量および回数

通常、1日1回、洗顔後、患部に適量を塗ります。

12週間で効果が見られない場合や炎症性皮疹が消失した場合には、他の適切な維持治療を検討するため、医師に相談してください。

●どのように使用するか？

- ・ 洗顔後、柔らかいタオルで水分を拭き取ってから患部に塗ってください。
- ・ 外用としてのみ使用してください。
- ・ 口、眼、口唇、その他の粘膜、刺激及び傷のある皮膚には塗らないでください。これらの部位にこの薬が付着した場合は水で洗い流してください。
- ・ 他のご瘡治療薬と併用する場合には刺激感が強くなるおそれがあるので注意してください。
- ・ 毛髪や布製品を退色させることがあるので、毛髪や、布製品、家具又は絨毯などに付着しないように注意してください。

●使用し忘れた場合の対応

気がついた時に、洗顔後、水分を拭き取ってから適量を塗ってください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

過度に塗っても上乘せ効果は期待されず、皮膚刺激感が強くあらわれることがあります。異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ この薬を塗った後、皮膚剥脱（はくだつ）（表皮がはがれおちる）、紅斑、刺激感、腫脹などがあらわれることがあります。また、紅斑や腫脹が顔全体や首までに及ぶ症例、水疱（みずぶくれを伴う発疹）、びらんなどがあらわれ、重症化した症例が報告されています。これらの症状の程度によっては休薬などの処置を行うことがありますので、主治医または薬剤師に相談してください。
- ・ 全身性の過敏反応や重度の皮膚刺激症状があらわれた場合には使用を中止し、医師に連絡してください。
- ・ この薬を使用中は、日光にできるだけあたらないようにしてください。また、日焼けランプの使用、紫外線療法は避けてください。

- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・ 授乳中の方は、授乳を避けてください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
大腸炎 <small>だいちょうえん</small> (限局性腸炎、潰瘍性大腸炎、抗生物質関連大腸炎(偽膜性大腸炎を含む)、出血性下痢) <small>(げんきょくせいちょうえん、かいようせいだいちょうえん、こうせいぶっしつかんれんだいちょうえん(ぎまくせいだいちょうえんをふくむ)、しゅっけつせいげり)</small>	発熱、下痢、腹痛、出血性の下痢、体重が減る、貧血、食欲不振、血便、嘔吐、吐き気

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、体重が減る、貧血
口や喉	嘔吐、吐き気
胸部	吐き気
腹部	腹痛、吐き気、下痢、食欲不振
便	下痢、血便、出血性の下痢

【この薬の形は？】

性状	白色～淡黄色の水性ゲル
内容量	10 g
外観	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	クリンダマイシンリン酸エステル水和物、過酸化ベンゾイル
添加物	濃グリセリン、カルボキシビニルポリマー、ジメチルポリシロキサン、含水二酸化ケイ素、ポリオキシエチレン(16)ポリオキシプロピレン(30)グリコール、水酸化ナトリウム、エデト酸ナトリウム水和物、スルホコハク酸ラウリル二ナトリウム、精製水

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・ 2～8℃で保管してください。
- ・ 乳幼児の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：サンファーマ株式会社 くすり相談センター

受付時間：9：00～17：30

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)

電話番号：0120-22-6880

ホームページ：<https://jp.sunpharma.com/>